

東京電機大学情報環境学部のチャレンジ 「Just For You」型教育の新・学部運営

報告の内容

〔基調報告〕

新学部コンセプトへの合意形成と21世紀型教育システム（中村尚五）
多様化した入学生に対しJust For You教育を目指し、様々な新しい教育システムを実践しつつある。特徴的ないくつかについて、その実際例を含めて紹介する。

1. 導入教育への取組み
 - (1) 学生自身によるカリキュラムの立案・作成
 - (2) ワークショップ
2. 学年制の撤廃と単位従量制学費の関係
 - (1) 情報環境学部における単位従量制学費の必要性
3. 必修科目の撤廃と事前履修条件
 - (1) GPAスコアの決め方
 - (2) 事前履修条件とGPAの関係
4. プロジェクト科目（産官学連携プログラム）
 - (1) 基礎プロジェクト科目の実際
 - (2) 開発型プロジェクト科目の実際
5. 英語教育
 - (1) TOEICスコアによる成果評価
 - (2) 教員のアウトソーシング

〔実践報告〕

ダイナミックシラバスによる教学システムの実例（土肥紳一）
学生は自分自身の時間割を自由に組む。これを支援するため、パソコンとインターネットを用いた“ダイナミックシラバス”を開発した。

1. カリキュラム計画（導入教育）
2. 学年制の撤廃
3. 必修科目の撤廃（事前履修条件の導入）
4. 単位従量制学費の導入
5. GPAの導入

〔実践報告〕

単位従量制学費と学費納入システム（櫻井 隆）
単位従量制学費の基本的な考え方と実際の学費体系、学費納入方法などを紹介し、現時点までの問題点と今後の展望について報告する。

1. 従前（既設学部）の学費体系とその問題点
2. 単位従量制学費の基本的な考え方と実際の学費体系
3. 学費納入方法と同システム
4. 教育上の効果と経営上の評価
5. 現時点までの問題点と今後の展望

〔授業見学〕（参加フリー）

「数学と物理A」（「技術英語」）〔英語による授業〕（根本 幾）
自然科学の基礎科目である数学と物理学のうち微分積分学と力学を、コンピュータによる処理を併用しながら単一の科目として学ぶ。50分授業週4コマで、後期に開講される「数学と物理B」と対をなす科目であるが、一方のみを受講することも可。各週最後のコマは、演習または簡単な実験を行う。日本語及び英語による授業があり、選択できる。日本語による講義を終了した後、同じ内容を英語で受講し、技術英語の単位を取得することもできる。

〔キャンパス見学〕（参加フリー）

TDU情報環境学部情報システムの全体像（金子敏夫）
施設・設備の中で、最大の特色の一つである「情報システム」について紹介する。

1. 情報システムの概要説明
 - (1) 情報環境学部特有のシステム（授業収録VODシステム、パーソナライズド・ウェブページシステム、サイバークラブルームシステムなど）
 - (2) キャンパスネットワークシステム
 - (3) 情報システムのサービス
2. 施設見学
 - (1) 総合メディアセンター（TDU千葉メディアセンター(15号館)）
 - (2) 教室設備

